



# 認定看護師通信



2012年10月発行  
Vol.2

担当:緩和ケア CN

## 第4回 緩和ケア研修会が開かれました!!



地域連携に必要なリソースは...

懇親会は楽しいね~!  
若い人たちの熱い語ら  
いは頼もしいなあ~。



9月8日、9日に荒尾文化センター・小ホールで開催されました。

緩和ケア研修会は、がん診療に携わる医師が緩和ケアについての基本的な知識を習得し、治療の初期段階からの適切な緩和ケアの提供体制を整備することを目的としています。

当院では毎年医師以外の医療従事者も参加を受けていて、「多職種チームアプローチの必要性を、グループワークやロールプレイを通して強く感じた」と感想を述べる受講者も多かったです。

概論や身体・精神症状コントロールなどの座学と、がん性疼痛のワークショップコミュニケーションのロールプレイ、療養の場の選択と地域連携についてグループワークなど多彩な講義内容と、とてもタイトなスケジュールの2日間でした。しかし修了証をもらえる皆さんの「やり遂げた」という達成感に満ちた笑顔が印象的でした。



地域連携病院・訪問看護ステーションの看護師の方々を対象とした「がん看護勉強会」をがん化学療法看護認定看護師の森田主任と一緒に、6月より毎月1回ずつ5回シリーズで行っています。今月が最終月となりますが、大牟田や天水などから参加される方もあり、みなさんの学習への意欲に応えられる講義ができるよう、自分自身が新しい知識を収得していかなければと強く感じています。

10月より院内の看護師のみなさんを対象とした「緩和ケア勉強会」を毎月行っていきます。看護の基本でもあるエンド・オブ・ライフ・ケアに基づく講義を行っていく予定です。緩和ケアに興味がある方の参加をお待ちしています。 文責:松山美保

